

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	中2	特別支援	②中学校指導案（特別支援）.pdf	授業構想力	○教師の少ない支援で、生徒が主体的にベットボトンを貼り合わせていた。	生徒にとって分かりやすく、且つ意欲的に取り組めるように、前時に生徒が出した意見をもとに、うまくいくための「コツ」を作成した。【意欲を育てる工夫】
R4	養高	特別支援	⑦小学校指導案（特別支援）.pdf	授業構想力	○低・中学年の児童も参加できるように、高学年の児童が声をかけていた。ボールすくいのボイの紙の厚さを工夫していた。	児童の意見を取り入れて、単元を進めた。どのようにしたらうまくいくかを児童が考え、児童の意見を取り入れて道具やゲームを作るという単元展開をした。【生活との結びつき】
R5	中2	特別支援	12.3.生活単元学習学習指導案（中学校）.pdf	授業構想力	○生徒が地図を前に積極的に意見を出し合い、予想している。	生徒に身近なものを取り上げた。予想するために必要な知識や情報を、日常生活の中で経験しているであろう（しかし確かな経験にはなっていないであろう）課題を設定した。
R5	養高	特別支援		授業構想力	○他教科の授業も、児童が自分で内容や順番を決めて進行しようとしていた。	児童の興味関心に基いた授業展開や、児童が主体となって活動できる環境を設定した。
R5	養高	特別支援		授業構想力	○博物館で鑑賞したことを普段の会話の中で話題にする姿が見られた。	公共の施設（広島県立歴史博物館）と連携して児童の活動の幅を広げた。
R5	養中	特別支援	12.1.生活単元学習学習指導案（養護中学年）.pdf	授業構想力	○絵本に登場する虫のイメージを言語化し、その虫のイメージを体で表現した。	自分の見せ場を考え、自分なりの言葉や動作で虫を表現することで、自分の役のやるべきことをイメージできるようにした。
R5	養中	特別支援	12.1.生活単元学習学習指導案（養護中学年）.pdf	授業構想力	○劇の取り組みの中で、発表後のゴールイメージをもつことで、見通しをもって学習や活動に取り組むことができた。	友だちや家族が見ている前で劇することに期待感をもち、また、それを他者からの評価をもらうことで、がんばった自分を実感し、劇の取り組みに対する達成感をもつことができるようにした。
R6	中1	特別支援	13.3.特別支援教育学習指導案（中学校）.pdf	授業構想力	○協力ポイントを考える際に、前時やこれまでの学習を思い出して、生徒同士で意見を出し合う。	単元全体を通して教師と生徒の合言葉“協力”を掲げると共に、見通しを持つことができるよう学習の展開をパターン化する。
R6	中2	特別支援	13.4.特別支援教育学習指導案（中学校）.pdf	授業構想力	○チェックリストを参考にしながら、同じグループの生徒に言葉で伝えながら、助けたり、助けを求めたりする。	話しかけるときの言葉や、手伝って欲しい時の言葉など、話型の例を指導する。状況と使える言葉のチェックリストを提示し、活用を促す。
R6	養中	特別支援	おにろく	授業構想力	○うろこを渡すときの「どうぞ」「ありがとう」のやり取りについて、教師の支援を介さず、子ども同士で行う。	セリフと日常生活の中の会話とを結びつけ、劇の展開に日常生活場面を取り入れる。
R6	養低	特別支援	13.1.特別支援教育学習指導案（小学校）.pdf	授業構想力	○劇のセリフを、お弁当を選ぶシーンで、児童の好きな食べ物にする。マイクの前で選んだお弁当をもって「ラーメン」と言う。	児童のこれまでの経験や学習してきたことを関連づけて、劇の内容の展開をする。
R4	中2	特別支援	②中学校指導案（特別支援）.pdf	授業実践力	○ベットボトンを組み合わせる場面において、数を数えるなど、数学の内容を活用する姿が見られた。	生徒が自然と知識を活用することができるような算数・数学の内容を活かした教材、学習の展開の工夫を行った。【教材・教具の工夫】
R4	養高	特別支援	⑦小学校指導案（特別支援）.pdf	授業実践力	○児童が進行する秋祭りに、低・中学年の児童も主体的に参加していた。	色分けマット、座る位置、数を数えるための教材など、構造化し、児童が見て分かる工夫をした。【主体的活動を促す手立て】
R4	養高	特別支援	⑦小学校指導案（特別支援）.pdf	授業実践力	○祭りの中でも、数・順番・数を数えるなどの算数の内容を活用していた。	算数の内容を活用するような教材の工夫をした。各児童に合わせた支援具の工夫を行った。【教材・教具等の工夫】
R5	中2	特別支援	12.3.生活単元学習学習指導案（中学校）.pdf	授業実践力	●個人思考が5分間あり、長い様子であった。	いきなり話し合いに入ると追いつけない、自分の意見を言いつらい生徒がいたため、時間を取っている。
R5	中2	特別支援	12.3.生活単元学習学習指導案（中学校）.pdf	授業実践力	○ペアでの話し合いで意見の一致しない部分を、ペアだけで終わらせるのではなく、全体でも共有し、予想・思考が深まっていた。	ペアでの意見を全体で共有する場を設定した。教師が、深めてほしい意見をピックアップして伝えた。
R5	養高	特別支援		授業実践力	○日常生活の中で、物事を比較したり、イメージをもとに新たに作ろうとしたりしていた。	日頃から、造形的な見方・考え方に関する話題に触れたり、イメージ豊かな会話をしたりするようにした。
R5	養中	特別支援	12.1.生活単元学習学習指導案（養護中学年）.pdf	授業実践力	●児童によっては、選択肢から選ぶ場面で、選択肢を順番に答える場面があり、場面にあった思考に至らなかった。	自分の出どころでの言葉や動きを考えたり、選択したりして、自分なりの表現方法で、演じることができるようになった。

R5	養中	特別支援	12_1_生活単元学習学習指導案（養護中学年）.pdf	授業実践力	○競技の特性や協議前の気持ちなどを自分で考えて、セリフにすることができた。	児童が自分の経験をもとした事柄を絵本と関連付けることで、絵本の内容や場面ごとの演出を具体的にイメージできるようにし、言葉や動きで表現できるようにした。
R6	中1	特別支援	13_3_特別支援教育学習指導案（中学校）.pdf	授業実践力	○教師の言葉掛けを受けて、すべての作業を自分でやっとうとしていた生徒が、ペアの生徒に譲ったり順番を相談したりする。	生徒の良い姿を即時評価すると共に、適切でない姿については良い姿を引き出す言葉掛けをする。
R6	中2	特別支援	13_4_特別支援教育学習指導案（中学校）.pdf	授業実践力	○作り方を参照しながら、しばらく試行錯誤した後	自分ができることと、手伝ってもらいたいことを考えるために、作品の作り方を参照したり、作品の見本と見比べたりするように促す。
R6	養中	特別支援	おにろく	授業実践力	○授業の始めに決めた個別のめあてに向けてそれぞれが取り組み、授業の終わりには自分自身の姿について動画を見ながら自己評価を行う。	個別のめあてを設定し、ペープサートで自分の役の動きを表したり場面に合う言葉を考えていたりした後に演じる。
R6	養低	特別支援	13_1_特別支援教育学習指導案（小学校）.pdf	授業実践力	○個別に設定した課題に取り組み、その様子を動画で振り返ることで、できたことを実感する。	劇の中でセリフや動きに対して、児童の変化を捉えて、肯定的な言葉がけをする。
R4	中2	特別支援	@中学校指導案（特別支援）.pdf	授業分析・評価力	●作業中に友だちのやり方に対して、「もっとこうしたら…」と気付いている生徒もいるようだったが、友だちに伝えていなかった。	授業者として評価できる姿が見られたとしても、生徒の学びの姿をより多面的に捉えて次の目標や生徒につけたい力を考えていく。【授業改善】
R4	中2	特別支援	@中学校指導案（特別支援）.pdf	授業分析・評価力	○生徒はタブレットを使い、それぞれの入力方法で自己評価していた。	生徒がタブレットを用いて、活動や自分自身の気持ちを振り返る場面を設定した。タブレットの文字入力の方法をローマ字入力やひらがな入力など、各生徒に合わせて設定した。【実態や目的に応じた振り返り方法の工夫】
R4	養高	特別支援	@小学校指導案（特別支援）.pdf	授業分析・評価力	○児童と教師がともにその成果を感じ喜び合う姿が見られた。	教師が児童に発問しながら、これまでに児童たちが取り組んできたことを振り返る場面を設定した。【実態や目的に応じた振り返り方法の工夫】
R5	中2	特別支援	12_3_生活単元学習学習指導案（中学校）.pdf	授業分析・評価力	○ペアで予想する際、たくさんの商品（身近なもの）について、スムーズに意見を言うことができていた。	生徒の実態から、予想する対象をはじめは一つ（黒ペン）、その後に複数と、単元の中で段階的に仕組んだ。
R5	養高	特別支援		授業分析・評価力	○児童自身が動画を視聴して自己省察をすることで一層意欲が増し、新規な活動に取り組もうとする姿が見られた。	児童の言動の変容を抽出し、どのような場面で目標に関する言動や探究心が喚起されるのかを考察した。
R5	養中	特別支援	12_1_生活単元学習学習指導案（養護中学年）.pdf	授業分析・評価力	○劇の発表後、自分の役を思い出して演じたり、虫のおもちゃ等に触ったりする自主的な姿が見られた。	劇の発表後に自信や達成感をもつことができるように、児童が主体的に取り組むことができる場面の設定と劇に関連した取り組みを継続的に行った。
R5	養中	特別支援	12_1_生活単元学習学習指導案（養護中学年）.pdf	授業分析・評価力	○クラス発表会後のイメージをもって、「パパとママ、ほめてくれるかな」と、発言する児童の姿があった。	劇に取り組むことでの他者からの評価を、活動やふりかえりの中で、具体的な言葉がけで働きかけた。
R6	中1	特別支援	13_3_特別支援教育学習指導案（中学校）.pdf	授業分析・評価力	○自分、仲間の頑張りについて、自分なりに活動を振り返って言語化し、「ありがとうと言ってくれて嬉しかった」「土を調節してくれて嬉しかった」と記述する。	集団の一員として活動する楽しさを感じ、他者の良さを認め合う学級集団づくり
R6	中2	特別支援	13_4_特別支援教育学習指導案（中学校）.pdf	授業分析・評価力	○細かな作業が得意な生徒が、同じグループの他の生徒が見本を選んだ後に「じゃあ、私はこれを作る。」と言って役割分担する。	生徒の作業能力に合わせて難易度が異なる見本を3種類提示する。
R6	養中	特別支援	おにろく	授業分析・評価力	○友達と一緒に役を演じる場面について、自分から友達の手を取り、「回るよ。」と言葉を掛ける。	単元を通して「友達と一緒に演じる」という点について継続的に姿を捉えることで、関わりの変容の具体を見取る。
R6	養低	特別支援	13_1_特別支援教育学習指導案（小学校）.pdf	授業分析・評価力	○セリフでマイクの前に移動し「んー。あ、そうだ。」のセリフで、マイクの前で立ち止まる。教師がジェスチャーするとセリフを言い始める。	個別の実態に応じて目標を設定し、その達成状況を継続的に見取ることで、その変容を捉える。